



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月9日

上場会社名 富士機械製造株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 6134 URL http://www.fuji.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部部长 (氏名) 巽 光司 TEL 0566-81-2111
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	59,352	40.0	10,688	118.5	11,196	139.2	7,884	141.5
29年3月期第2四半期	42,404	△6.4	4,890	△29.3	4,679	△35.6	3,264	△33.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 11,647百万円（-％） 29年3月期第2四半期 970百万円（△71.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	88.14	81.86
29年3月期第2四半期	34.59	32.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	174,776	141,251	80.7
29年3月期	158,406	130,947	82.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 141,052百万円 29年3月期 130,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	27.3	17,500	78.7	18,100	77.4	12,700	80.0	141.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	97,823,748株	29年3月期	97,823,748株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	8,373,646株	29年3月期	8,372,922株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	89,450,480株	29年3月期2Q	94,394,578株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページをご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料につきましては、平成29年11月10日に当社ホームページに掲載いたします。

(参考)

平成30年3月期の個別業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	26.8	16,000	79.3	16,400	78.0	12,000	86.6	134.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. その他	10
(1) 受注及び販売の状況	10
(2) 地域に関する情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気回復基調が続き、設備投資は堅調に推移しました。世界経済は、欧州では緩やかな景気回復が持続し、北米では企業収益の改善を背景に製造業に持ち直しの動きが続きました。中国でも景気は持ち直し、製造業の設備投資に回復の動きが見られました。

このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を!』のコーポレートスローガンのもと、変革にチャレンジし、世界有数のロボットメーカーとして独創性の高い製品開発に取り組むとともに、スピード経営を推進し、価格競争力の高い製品のタイムリーな市場投入に努めてまいりました。また、グループ会社間の連携及び代理店網の拡充による国内外の販売・サービス体制の強化やソリューション営業の推進により顧客満足度の向上に努めるとともに、サプライチェーンの強化や生産改革による徹底したQCD（品質・コスト・納期）の追求に取り組み、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は59,352百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて16,947百万円(40.0%)増加いたしました。また、営業利益は10,688百万円(前年同四半期比118.5%増)、経常利益は11,196百万円(前年同四半期比139.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,884百万円(前年同四半期比141.5%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1) ロボットソリューション

世界的景況感の改善に伴い、電子機器全般が堅調に推移し需要が拡大しました。業績を押し上げたのはスマートフォン、車載であり、更には家電、IoT機器も堅調でした。地域で見ると特に、中国市場が大きく伸びました。この結果、売上高は52,453百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて15,573百万円(42.2%)増加し、営業利益は12,352百万円(前年同四半期比69.0%増)となりました。

2) 工作機械

国内外共に設備投資への強い姿勢がうかがえました。中国の需要増には販売体制が十分に構築できませんでした。国内の設備投資及び米国の自動車関連設備投資が堅調でした。この結果、売上高は5,915百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて1,007百万円(20.5%)増加し、営業利益は53百万円(前年同四半期：営業損失416百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、連結総資産合計は受取手形及び売掛金の増加等により前連結会計年度末と比べて16,370百万円増加し174,776百万円となりました。また、連結負債合計は繰延税金負債(固定負債のその他に含みます)及び未払法人税等の増加等により前連結会計年度末と比べて6,065百万円増加し33,524百万円となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べて1,794百万円減少し53,564百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは4,017百万円の収入(前年同四半期：9,165百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益等のプラス要因が売上債権の増加等のマイナス要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは4,780百万円の支出(前年同四半期：6,945百万円の支出)となりました。これは主に有価証券の取得による支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,371百万円の支出(前年同四半期：4,825百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払額等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ロボットソリューション事業において、電子機器分野全般に引き続き堅調な設備投資需要が見込まれることから、平成29年8月10日に公表いたしました通期の連結の業績予想数値を下記のとおり修正いたします。

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	104,000	16,100	16,600	11,800	131.92
今回発表予想(B)	110,000	17,500	18,100	12,700	141.98
増減額(B-A)	6,000	1,400	1,500	900	—
増減率(%)	5.8	8.7	9.0	7.6	—
前期実績(平成29年3月期)	86,397	9,794	10,200	7,054	76.19

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,956	49,452
受取手形及び売掛金	18,004	29,431
有価証券	5,570	10,183
商品及び製品	7,463	8,954
仕掛品	14,158	12,488
原材料及び貯蔵品	5,479	5,720
その他	6,932	6,508
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	111,544	122,717
固定資産		
有形固定資産	17,870	18,289
無形固定資産	6,462	6,517
投資その他の資産		
投資有価証券	22,057	26,725
その他	471	525
投資その他の資産合計	22,529	27,251
固定資産合計	46,862	52,059
資産合計	158,406	174,776
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,250	5,664
1年内返済予定の長期借入金	31	—
未払法人税等	1,691	3,126
製品保証引当金	845	1,022
その他	6,195	8,857
流動負債合計	14,014	18,671
固定負債		
社債	10,039	10,034
退職給付に係る負債	859	786
その他	2,545	4,032
固定負債合計	13,444	14,853
負債合計	27,458	33,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	5,413	5,413
利益剰余金	119,790	126,333
自己株式	△10,054	△10,055
株主資本合計	121,028	127,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,739	10,999
為替換算調整勘定	1,892	2,441
退職給付に係る調整累計額	83	41
その他の包括利益累計額合計	9,715	13,482
非支配株主持分	203	199
純資産合計	130,947	141,251
負債純資産合計	158,406	174,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	42,404	59,352
売上原価	26,348	35,231
売上総利益	16,056	24,121
販売費及び一般管理費	11,165	13,432
営業利益	4,890	10,688
営業外収益		
受取利息	76	100
受取配当金	194	189
為替差益	—	213
雑収入	106	62
営業外収益合計	377	566
営業外費用		
支払利息	△3	△2
支払手数料	15	60
為替差損	574	—
雑支出	2	0
営業外費用合計	588	58
経常利益	4,679	11,196
特別利益		
固定資産処分益	19	15
助成金収入	159	—
その他	—	0
特別利益合計	179	15
特別損失		
固定資産処分損	56	228
投資有価証券評価損	145	—
訴訟和解金	—	434
特別損失合計	201	662
税金等調整前四半期純利益	4,657	10,549
法人税、住民税及び事業税	1,390	3,163
法人税等調整額	△3	△506
法人税等合計	1,387	2,657
四半期純利益	3,270	7,891
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,264	7,884

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	3,270	7,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△436	3,259
為替換算調整勘定	△2,193	538
退職給付に係る調整額	329	△41
その他の包括利益合計	△2,299	3,755
四半期包括利益	970	11,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	956	11,651
非支配株主に係る四半期包括利益	14	△4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,657	10,549
減価償却費	2,472	2,503
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	409	△132
受取利息及び受取配当金	△271	△290
支払利息	△3	△2
固定資産処分損益(△は益)	36	213
投資有価証券評価損益(△は益)	145	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,213	△11,320
たな卸資産の増減額(△は増加)	△272	240
仕入債務の増減額(△は減少)	△467	176
未収消費税等の増減額(△は増加)	1,207	1,143
その他	△331	2,383
小計	9,796	5,464
利息及び配当金の受取額	272	291
利息の支払額	△1	△2
法人税等の支払額	△901	△1,735
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,165	4,017
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,200	△3,600
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,353	△2,852
有形及び無形固定資産の売却による収入	122	36
投資有価証券の取得による支出	△99	—
定期預金の預入による支出	△1,624	△33
定期預金の払戻による収入	1,210	1,713
その他	△2	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,945	△4,780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△32
配当金の支払額	△1,344	△1,337
自己株式の取得による支出	△3,450	△1
その他	△30	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,825	△1,371
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,541	339
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,147	△1,794
現金及び現金同等物の期首残高	59,357	55,358
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,210	53,564

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	工作機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,879	4,907	41,786	617	42,404
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	1	2
計	36,880	4,907	41,788	619	42,407
セグメント利益又は損失(△)	7,309	△416	6,892	△274	6,618

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,892
その他の区分の損失(△)	△274
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△1,732
四半期連結損益計算書の営業利益	4,890

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	工作機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	52,453	5,915	58,368	984	59,352
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	0	5	5	10
計	52,457	5,915	58,373	990	59,363
セグメント利益又は損失(△)	12,352	53	12,405	△138	12,267

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,405
その他の区分の損失(△)	△138
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△1,583
四半期連結損益計算書の営業利益	10,688

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	38,650	87.1	36,879	86.9	11,082	60.5
工作機械	5,099	11.5	4,907	11.6	7,067	38.6
その他	624	1.4	617	1.5	171	0.9
合計	44,375	100.0	42,404	100.0	18,321	100.0

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	52,594	87.5	52,453	88.4	16,328	66.1
工作機械	6,372	10.6	5,915	10.0	8,111	32.8
その他	1,130	1.9	984	1.6	282	1.1
合計	60,097	100.0	59,352	100.0	24,722	100.0

前連結会計年度(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	80,981	86.1	74,105	85.8	16,187	67.5
工作機械	11,776	12.5	10,997	12.7	7,654	31.9
その他	1,265	1.4	1,294	1.5	136	0.6
合計	94,024	100.0	86,397	100.0	23,978	100.0

(2) 地域に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	5,378	19,577	5,390	4,703	1,512	5,425	417	42,404
構成比(%)	12.7	46.2	12.7	11.1	3.5	12.8	1.0	100.0

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	7,356	29,366	6,374	6,631	3,687	5,437	497	59,352
構成比(%)	12.4	49.5	10.7	11.2	6.2	9.2	0.8	100.0

前連結会計年度(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	11,876	38,947	10,377	10,791	3,605	9,870	927	86,397
構成比(%)	13.7	45.1	12.0	12.5	4.2	11.4	1.1	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

平成30年3月期 第2四半期決算発表

平成29年11月9日
富士機械製造株式会社
(コード番号 6134 東証・名証第一部)

1. 当期の連結売上高・収益の第2四半期連結累計期間実績と通期予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期連結累計期間実績	59,352	40.0	10,688	118.5	11,196	139.2	7,884	141.5
通期予想	110,000	27.3	17,500	78.7	18,100	77.4	12,700	80.0

2. 当期の個別売上高・収益の第2四半期累計期間実績と通期予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期累計期間実績	55,329	45.7	10,101	163.1	10,510	198.6	7,652	206.1
通期予想	100,000	26.8	16,000	79.3	16,400	78.0	12,000	86.6

3. 当期の連結受注高・売上高の第2四半期連結累計期間実績と通期予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高		売上高	
	第2四半期連結累計期間実績	通期予想	第2四半期連結累計期間実績	通期予想
ロボットソリューション	52,594	95,500	52,453	95,000
工作機械	6,372	13,000	5,915	13,000
その他	1,130	2,500	984	2,000
合計	60,097	111,000	59,352	110,000

4. 当期の主な科目の第2四半期連結累計期間実績と通期予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(百万円未満切捨)

科目	第2四半期連結累計期間実績	通期予想
設備投資額	3,156	8,000
減価償却実施額	2,503	5,100
研究開発費	4,217	8,100